

市役所本庁舎1階「市民の声を聞く課」の市政相談



民間出身の市長としてあらためて感じているのは、これからの行政には、市民が意見や提案を述べられる場を積極的に設けていく必要があるということです



そうした声を率直に受け止めることが、市政の改革につながっていくのではないのでしょうか

老婆心から言わせてもらえば、いつの時代も、現状を変えようとするとき、必ず批判や反発の声が出てくるものだから



そうした思いもあって、今月から、「あなたの街で市長と語る」という対話集会を開催します

最後に、その意気込みを一言で言う？

市民の皆さんにまちづくりに関する情報を提供し、一緒に考えてもらうことで、市政への参加意識を高めていくのです

その気持ちもみんなにも伝えて、共に札幌の未来を切り開いていってほしい

ポイント解説⑤
タウンーク
 上田市長が25年間の弁護士活動で培った対話能力と行動力を発揮し、市政の課題について地域の皆さんと幅広く議論を重ねていく対話集会です。
 ⇒詳細はP9へ



夢とはいえ、万平との「対話」により、決意を新たにした上田市長

今日も、全身汗まみれになりながら、まちづくりを思い描く時のお気に入りの場所・三角山に登るのだった



万平さん、ありがと……

「市民参加」と「対話」を重視しながら、みんなと力を合わせてしっかりと市政を運営していきますよ！



う、夢か……

おはよう イブ

上田市政「こころ」に期待！
 既存の施設を有効活用し、地域に「創作拠点」の提供を

上田市長が都市像として掲げる「芸術文化の発信都市・札幌」を実現していくためには、演劇や音楽の練習などに幅広く利用できる「創作スペース」を地域にたくさん作ってみたいのでしょうか。

何も新たなハコを作る必要はありません。小中学校や地区センターなど、全市の既存の公共施設をより利用しやすい形で開放するのです（できるだけ低額で！）。昼に勤めている人や学生などが使いやすいように、二十四時間使える場を設けるのも一案。「芸術は夜つくれる」という名言があるほどですからね。

芸術や文化というものは、長い時間をかけて築き上げていくものだと思います。上田市政には、市民の地道な文化活動を支援し、将来の芽を育てていくという「パトロン」のような役割を期待します！

コンカリニョJ R 琴似駅北口にある石造り倉庫を利用したフリースペースを運営。六月に建物解体されたため、現在劇場再建に向けた活動を行っている。

※芸術家や芸人などに経済的援助を与える人

NPO 法人 コンカリニョ代表 さいとう 齋藤 ちずさん